

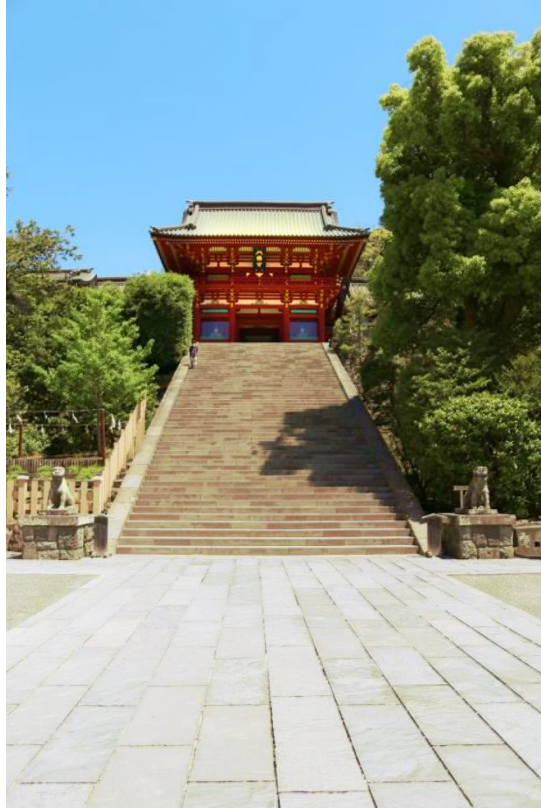
鶴岡八幡宮 撮影スポットの紹介

- 撮影の際は、他の参拝者の方と密にならないよう、ソーシャルディスタンスの保持にご協力をお願いいたします。
- 地図下部に、各スポットの詳細を掲載しております。



①大石段下、舞殿前➡

鶴岡八幡宮の見どころの一つ、大石段と楼門を背に撮影できます。



②舞殿東側➡

舞殿や境内の自然を1つのカットに収めることができます。



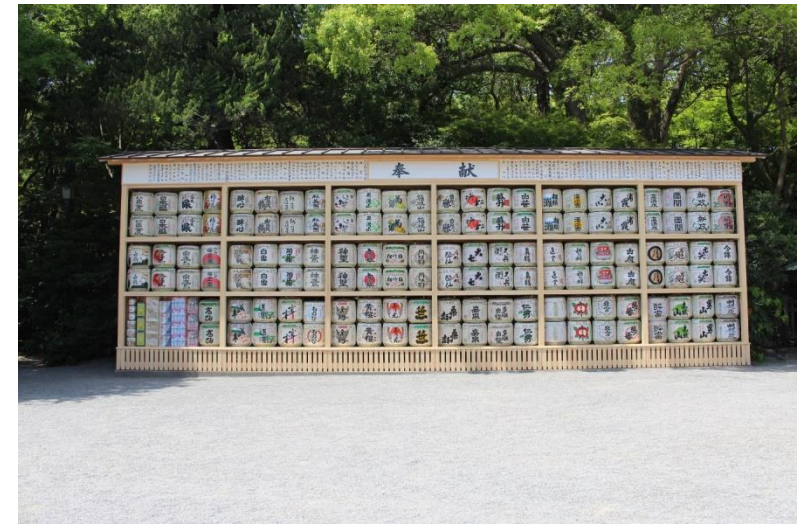
③柳原神池の赤橋↓

境内でも屈指の紅葉ポイント。もみじの木と赤橋が着物に映えます。



④舞殿西側・酒樽

角度によっては、舞殿・大銀杏・楼門まで1カットに収めることができます。酒樽は、色とりどりの飾り樽が並んでいるのが写真に映えると人気のスポット。



(※現在大石段左側に、新型コロナウイルスの流行鎮静を願い「自祓所」を設置しているため、日によっては、上記写真のような映りにならない場合がございます。)

⑤白旗神社参道

源頼朝公、実朝公を祀る白幡神社では、珍しい黒塗りのご社殿に木々の色づきが映えます。画像右、赤丸の部分はちょうど紅葉を背景に撮影できる場所となっております、隠れた人気スポットです。



⑥鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム 正面入り口側

神奈川県的重要文化財である鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム（旧神奈川県立近代美術館）。建築界の巨匠ル・コルビュジェの弟子である坂倉準三の設計であり、建造美を背景に撮影できます。



⑦鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム （平家池の島より撮影）

中央参道左側、赤橋を渡ったところにある平家池の島からは、鎌倉文華館 鶴岡ミュージアムを望むことができます。天気の良い日には、池が文華館の白い外壁を映す鏡のようになります。



⑧平家池遊歩道

あまり知られていませんが、平家池の周りには遊歩道があり、池の周囲を歩くことができます。こちら、⑦と同様に、天気の良い日には鏡写しのようになった鎌倉文華館を見ることができます。静かで美しいスポットといえるでしょう。



◎遊歩道への行き方◎

境内中央参道より鎌倉文華館 鶴岡ミュージアムの敷地へ入り、脇を通り抜けて左に曲がります。あるいは、北鎌倉に向かう県道からお入りください。

(図の青矢印：境内から入るルート、オレンジ矢印：県道から入るルート)

(※県道から車で直接進入はできませんのでお気を付けください。)

